



**米原高校3年生が模擬投票を体験  
～聖泉大学の学生が企画～(7月6日)**

県立米原高等学校で「模擬投票ワークショップ」が行われました。これは、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、政治や選挙に関心を持ってもらおうと、市と連携協力協定を締結している聖泉大学の学生が出前講座として実施したものです。

まず、クイズ形式で選挙の仕組みや若者の投票率の現状などについて学んだ後、大学生2人が架空の候補者を演じ、それぞれの公約を演説しました。演説を聞いた生徒は、用意された選挙公報なども参考にしながら、自分で候補者を選び、実際に選挙で使用される記載台と投票箱を使用して、1票を投じました。

7月10日に実施された参議院議員選挙を前に、投票の仕方や投票する意味について学ぶ機会となりました。



**アイリスオーヤマ株式会社と  
災害時の生活必需物資の供給に  
関する協定を締結 (6月14日)**



市は、アイリスオーヤマ株式会社と「災害時における生活必需物資の供給」に関する協定を締結しました。アイリスオーヤマ株式会社が自治体と災害時の応援協定を締結するのは、全国で初めて。

この協定により、災害時、生活用消耗品や防災用品、食料品などの生活必需物資の確保と供給が円滑に実施できることが期待されます。

締結式で、アイリスオーヤマ株式会社の西日本統括工場長兼米原工場長の西村弘毅さんは「熊本地震で被災地に物資を供給した経験も生かし、米原市民のみなさんの支援につながるよう取り組みたい」と話しました。

**坂田小学校6年生が校外学習  
～市の歴史文化を現地で学ぶ～  
(6月24日)**



坂田小学校6年生が市内3つの地域に分かれて地域の歴史や文化を学ぶ校外学習を行いました。

これは総合学習の一環として行われたもので、この日は6年生63人のうち22人が蛭子神社を訪れました。

世継まちづくり委員会のみなさんなどから世継七夕伝説を物語にした紙芝居が行われると児童たちは聞き入っていました。また、古地図などを使った学習で、地震で沈んだ集落の話などの説明を受けると熱心にメモを取りながら、理解を深めていました。

最後には児童たちは短冊に思いの願い事を書き、境内に用意された笹に吊るしました。

**なかほっこまつりを開催  
～現在の園舎に感謝とお別れの  
気持ちを込めて～ (6月25日)**



米原中保育園で、なかほっこまつりが行われました。これは、(仮称)まいばら認定こども園の開園に向け、現在の園舎の一部が取り壊されるため、園舎への感謝と惜別の気持ちを込めて開催されたものです。

この日は、園児特製の「きりんみこし」からスタート。風船とばしのほか、園児たちが作成した魚釣りや的当て、風鈴制作などさまざまなコーナーが設けられ、訪れた親子は楽しいひとときを過ごしていました。

また、卒園児の写真や関係者の一覧も展示され、園舎での思い出にひたっていました。

**お盆の  
市役所業務  
ご案内**

8月15日(月)は、市役所と各行政サービスセンターは通常通り業務を行います。  
「米原げんきステーション」(米原庁舎南隣り)は、8月15日(月)は、お休みをいただきますので、母子健康手帳の交付は健康づくり課(山東庁舎)で行います。